

生活保護世帯における生活の質の面からみた  
消費支出や生活実態等の分析について  
【第2回検討会における委員からの依頼資料】

# 1 生活保護世帯の生活の質の面からみた消費支出や生活実態の分析による家計内容の把握

## (1) 10大品目別の消費支出割合における生活保護世帯と一般世帯との比較 <第2回検討会 資料2・P4 関連>

- 10大品目別の消費支出割合について、生活保護世帯（全世帯）と一般世帯（全世帯・年収階級第1・十分位）の状況を比較すると、
  - ・ 「食料」及び「住居」については、生活保護世帯の支出割合の方が高く、
  - ・ 一方、「保健医療」「交通・通信」「教養娯楽」及び「その他の消費支出」については、一般世帯の支出割合の方が高い。
- さらに、各品目の内訳の状況をみると、生活保護世帯においては、概ね以下のような傾向が見られた。
  - ・ 食料：「調理食品」の支出割合がやや高い一方、「外食」の支出割合はやや低くなっている。
  - ・ 住居：「家賃・地代」の支出割合が高い一方、「設備修繕・維持」の支出割合は低くなっている。
  - ・ 保健医療：医療サービスが医療扶助によって現物給付されているため、「保健医療サービス」の支出割合が低い。
  - ・ 交通通信：自動車の保有が原則として認められていないため、「自動車等関係費」の支出割合が低い。
  - ・ 教養娯楽：「教養娯楽サービス」の支出割合が低い。
  - ・ その他の消費支出：「交際費」の支出割合が低い。

(図表1) 10大費目別の消費支出割合等の状況（生活保護：全世帯、一般世帯：全世帯・年収階級第1・十分位世帯）

集計対象世帯数(世帯)	①生保・全世帯		②一般・全世帯		②一般・第1十分位	
	金額	支出割合	金額	支出割合	金額	支出割合
集計対象世帯数(世帯)	3,703		54,208		2,907	
消費支出(等価世帯人員一人当たり)	109,911円	100.0%	164,558円	100.0%	111,672円	100.0%
食料	33,795円	30.7%	40,091円	24.4%	29,427円	26.4%
穀類	4,078円	3.7%	3,497円	2.1%	2,889円	2.6%
魚介類	2,542円	2.3%	3,227円	2.0%	2,587円	2.3%
肉類	2,517円	2.3%	3,485円	2.1%	2,196円	2.0%
乳卵類	1,594円	1.5%	1,808円	1.1%	1,477円	1.3%
野菜・海藻	4,471円	4.1%	4,598円	2.8%	3,837円	3.4%
果物	1,307円	1.2%	1,584円	1.0%	1,512円	1.4%
油脂・調味料	1,643円	1.5%	1,794円	1.1%	1,430円	1.3%
菓子類	2,807円	2.6%	2,827円	1.7%	1,933円	1.7%
調理食品	6,433円	5.9%	5,256円	3.2%	4,599円	4.1%
飲料	2,769円	2.5%	2,300円	1.4%	1,846円	1.7%
酒類	1,029円	0.9%	1,864円	1.1%	1,561円	1.4%
外食	2,604円	2.4%	7,851円	4.8%	3,560円	3.2%
住居	27,854円	25.3%	12,629円	7.7%	16,791円	15.0%
家賃・地代	27,598円	25.1%	7,804円	4.7%	10,441円	9.3%
設備修繕・維持	256円	0.2%	4,825円	2.9%	6,350円	5.7%
光熱・水道	10,483円	9.5%	11,568円	7.0%	10,757円	9.6%
電気代	4,119円	3.7%	5,578円	3.4%	4,800円	4.3%
ガス代	3,550円	3.2%	2,483円	1.5%	2,710円	2.4%
他の光熱	1,108円	1.0%	623円	0.4%	971円	0.9%
上下水道料	1,706円	1.6%	2,884円	1.8%	2,277円	2.0%
家具・家事用品	5,021円	4.6%	5,620円	3.4%	3,991円	3.6%
家庭用耐久財	1,138円	1.0%	1,626円	1.0%	1,078円	1.0%
室内装備・装飾品	201円	0.2%	503円	0.3%	484円	0.4%
寝具類	306円	0.3%	404円	0.2%	201円	0.2%
家事雑貨	1,067円	1.0%	1,217円	0.7%	782円	0.7%
家事用消耗品	2,064円	1.9%	1,283円	0.8%	975円	0.9%
家事サービス	245円	0.2%	587円	0.4%	472円	0.4%

	①生保・全世帯		②一般・全世帯		②一般・第1十分位	
	金額	支出割合	金額	支出割合	金額	支出割合
被服及び履物	3,655円	3.3%	6,760円	4.1%	3,069円	2.7%
和服	6円	0.0%	113円	0.1%	20円	0.0%
洋服	1,272円	1.2%	2,957円	1.8%	1,120円	1.0%
シャツ/セーター類	330円	0.3%	1,215円	0.7%	578円	0.5%
下着類	470円	0.4%	559円	0.3%	395円	0.4%
生地・糸類	52円	0.0%	76円	0.0%	51円	0.0%
他の被服	769円	0.7%	549円	0.3%	383円	0.3%
履物類	582円	0.5%	871円	0.5%	364円	0.3%
被服関連サービス	174円	0.2%	420円	0.3%	159円	0.1%
保健医療	2,183円	2.0%	7,141円	4.3%	5,398円	4.8%
医薬品	547円	0.5%	1,382円	0.8%	1,294円	1.2%
健康保持用摂取品	546円	0.5%	677円	0.4%	712円	0.6%
保健医療用品・器具	789円	0.7%	1,102円	0.7%	745円	0.7%
保健医療サービス	302円	0.3%	3,981円	2.4%	2,647円	2.4%
交通・通信	8,938円	8.1%	24,417円	14.8%	12,352円	11.1%
交通	2,398円	2.2%	4,039円	2.5%	2,040円	1.8%
自動車等関係費	779円	0.7%	12,350円	7.5%	5,098円	4.6%
通信	5,761円	5.2%	8,029円	4.9%	5,214円	4.7%
教育	1,427円	1.3%	5,976円	3.6%	520円	0.5%
授業料等	1,011円	0.9%	4,807円	2.9%	467円	0.4%
教科書・学習参考教材	123円	0.1%	62円	0.0%	4円	0.0%
補習教育	294円	0.3%	1,107円	0.7%	49円	0.0%
教養娯楽	5,669円	5.2%	17,246円	10.5%	10,631円	9.5%
教養娯楽用耐久財	248円	0.2%	909円	0.6%	445円	0.4%
教養娯楽用品	1,730円	1.6%	3,437円	2.1%	2,776円	2.5%
書籍・他の印刷物	1,631円	1.5%	2,372円	1.4%	2,252円	2.0%
教養娯楽サービス	2,060円	1.9%	10,527円	6.4%	5,158円	4.6%
その他の消費支出	10,885円	9.9%	33,111円	20.1%	18,737円	16.8%
諸雑費	7,926円	7.2%	13,084円	8.0%	9,439円	8.5%
こづかい・用途不明	1,324円	1.2%	5,257円	3.2%	540円	0.5%
交際費	1,578円	1.4%	11,370円	6.9%	7,973円	7.1%
仕送り金	58円	0.1%	3,400円	2.1%	784円	0.7%

出典) 生活保護世帯：平成24年～平成28年社会保障生計調査・一般世帯：平成26年全国消費実態調査に基づいて保護課にて作成

注1) 各費目の値については、各費目の集計値を世帯人員の平方根で除することによって、世帯人員の違いを調整している。

注2) 網がけの項目は固定的経費を表している。

# 1 生活保護世帯の生活の質の面からみた消費支出や生活実態の分析による家計内容の把握

## (1) 10大品目別の消費支出割合における生活保護世帯と一般世帯との比較【世帯類型別】 <第2回検討会 資料2・P4関連>

### 【高齢者世帯】

- 10大品目別の消費支出割合について、生活保護世帯（高齢者世帯）と一般世帯（高齢単身・高齢夫婦）の状況を比較すると、
  - ・ 「食料」及び「住居」については、生活保護世帯の支出割合の方が高く、
  - ・ 一方、「保健医療」「交通・通信」「教養娯楽」及び「その他の消費支出」については、一般世帯の支出割合の方が高い。
- さらに、各品目の内訳の状況をみると、生活保護世帯（高齢者世帯）においては、概ね以下のような傾向が見られた。
  - ・ 食料：「調理食品」の支出割合がやや高い一方、「外食」の支出割合はやや低くなっている。
  - ・ 保健医療：医療サービスが医療扶助によって現物給付されているため、「保健医療サービス」の支出割合が低い。
  - ・ 交通通信：自動車の保有が原則として認められていないため、「自動車等関係費」の支出割合が低い。
  - ・ 教養娯楽：「教養娯楽サービス」の支出割合が低い。
  - ・ その他の消費支出：「交際費」の支出割合が低い。

(図表2) 10大費目別の消費支出割合等の状況（生活保護：高齢者世帯、一般世帯：高齢単身世帯・高齢夫婦世帯）

集計対象世帯数(世帯)	①生保・高齢者世帯		②一般・高齢単身無職		②一般・高齢夫婦無職	
	金額	支出割合	金額	支出割合	金額	支出割合
消費支出(等価世帯人員一人当たり)	102,412円	100.0%	152,178円	100.0%	166,603円	100.0%
食料	33,127円	32.3%	34,928円	23.0%	44,669円	26.8%
穀類	3,761円	3.7%	2,811円	1.8%	4,270円	2.6%
魚介類	3,099円	3.0%	3,148円	2.1%	5,086円	3.1%
肉類	2,062円	2.0%	2,178円	1.4%	3,690円	2.2%
乳卵類	1,702円	1.7%	1,804円	1.2%	2,336円	1.4%
野菜・海藻	5,318円	5.2%	4,686円	3.1%	6,911円	4.1%
果物	1,738円	1.7%	1,120円	0.7%	2,864円	1.7%
油脂・調味料	1,686円	1.6%	1,651円	1.1%	2,198円	1.3%
菓子類	2,321円	2.3%	2,233円	1.5%	2,845円	1.7%
調理食品	5,986円	5.8%	5,016円	3.3%	5,093円	3.1%
飲料	2,215円	2.2%	1,865円	1.2%	2,118円	1.3%
酒類	1,156円	1.1%	1,466円	1.0%	2,090円	1.3%
外食	2,082円	2.0%	5,950円	3.9%	5,170円	3.1%
住居	31,073円	30.3%	15,647円	10.3%	11,693円	7.0%
家賃・地代	30,789円	30.1%	6,915円	4.5%	2,625円	1.6%
設備修繕・維持	283円	0.3%	-	-	-	-
光熱・水道	9,425円	9.2%	12,128円	8.0%	13,155円	7.9%
電気代	4,003円	3.9%	5,558円	3.7%	6,193円	3.7%
ガス代	3,067円	3.0%	2,850円	1.9%	2,695円	1.6%
他の光熱	1,029円	1.0%	-	-	-	-
上下水道料	1,325円	1.3%	2,485円	1.6%	3,371円	2.0%
家具・家事用品	4,464円	4.4%	5,820円	3.8%	6,457円	3.9%
家庭用耐久財	974円	1.0%	1,934円	1.3%	2,111円	1.3%
室内装飾・装飾品	181円	0.2%	-	-	-	-
寝具類	251円	0.2%	-	-	-	-
家事雑貨	899円	0.9%	-	-	-	-
家事用消耗品	1,910円	1.9%	-	-	-	-
家事サービス	248円	0.2%	-	-	-	-

	①生保・高齢者世帯		②一般・高齢単身無職		②一般・高齢夫婦無職	
	金額	支出割合	金額	支出割合	金額	支出割合
被服及び履物	2,323円	2.3%	5,940円	3.9%	5,001円	3.0%
和服	2円	0.0%	-	-	-	-
洋服	643円	0.6%	2,441円	1.6%	1,737円	1.0%
シャツ/セーター類	221円	0.2%	-	-	-	-
下着類	393円	0.4%	-	-	-	-
生地・糸類	58円	0.1%	-	-	-	-
他の被服	481円	0.5%	-	-	-	-
履物類	346円	0.3%	-	-	-	-
被服関連サービス	179円	0.2%	-	-	-	-
保健医療	2,112円	2.1%	7,771円	5.1%	10,759円	6.5%
医薬品	584円	0.6%	1,785円	1.2%	2,149円	1.3%
健康保持用摂取品	640円	0.6%	1,421円	0.9%	1,177円	0.7%
保健医療用品・器具	657円	0.6%	919円	0.6%	1,309円	0.8%
保健医療サービス	231円	0.2%	3,646円	2.4%	6,125円	3.7%
交通・通信	5,401円	5.3%	14,732円	9.7%	20,002円	12.0%
交通	1,654円	1.6%	3,492円	2.3%	3,298円	2.0%
自動車等関係費	303円	0.3%	5,904円	3.9%	10,957円	6.6%
通信	3,444円	3.4%	5,336円	3.5%	5,747円	3.4%
教育	25円	0.0%	0円	0.0%	11円	0.0%
授業料等	14円	0.0%	-	-	-	-
教科書・学習参考教材	2円	0.0%	-	-	-	-
補習教育	10円	0.0%	-	-	-	-
教養娯楽	4,551円	4.4%	19,755円	13.0%	19,537円	11.7%
教養娯楽用耐久財	122円	0.1%	826円	0.5%	817円	0.5%
教養娯楽用品	1,226円	1.2%	3,353円	2.2%	3,162円	1.9%
書籍・他の印刷物	1,874円	1.8%	3,224円	2.1%	3,084円	1.9%
教養娯楽サービス	1,329円	1.3%	12,352円	8.1%	12,473円	7.5%
その他の消費支出	9,911円	9.7%	35,457円	23.3%	35,319円	21.2%
諸雑費	7,428円	7.3%	15,389円	10.1%	13,934円	8.4%
ごつかい・用途不明	636円	0.6%	-	-	4,996円	3.0%
交際費	1,837円	1.8%	18,739円	12.3%	15,805円	9.5%
仕送り金	10円	0.0%	1,244円	0.8%	583円	0.4%

出典) 生活保護世帯：平成24年～平成28年社会保障生計調査・一般世帯：平成26年全国消費実態調査に基づいて保護課にて作成

注1) 各費目の値については、各費目の集計値を世帯人員の平方根で除することによって、世帯人員の違いを調整している。

注2) 網がけの項目は固定的経費を表している。

注3) 消費支出額が公表されていない品目がある（「-」で記載）ため、各品目の内訳の合計が総数と一致しない場合がある。

# 1 生活保護世帯の生活の質の面からみた消費支出や生活実態の分析による家計内容の把握

## (1) 10大品目別の消費支出割合における生活保護世帯と一般世帯との比較【世帯類型別】 <第2回検討会 資料2・P4関連>

### 【母子世帯】

- 10大品目別の消費支出割合について、生活保護世帯（母子世帯）と一般世帯（母子世帯）の状況を比較すると、
  - ・ 「食料」及び「住居」については、生活保護世帯の支出割合の方がやや高い。
  - ・ 一方、「交通・通信」及び「その他の消費支出」については、一般世帯の支出割合の方がやや高い。
- さらに、各品目の内訳の状況をみると、生活保護世帯（母子世帯）においては、概ね以下のような傾向が見られた。
  - ・ 食料：「外食」の支出割合がやや低い。
  - ・ 交通通信：自動車の保有が原則として認められていないため、「自動車等関係費」の支出割合が低い。
  - ・ その他の消費支出：「交際費」の支出割合が低い。

(図表3) 10大費目別の消費支出割合等の状況（生活保護：母子世帯、一般世帯：母子世帯）

集計対象世帯数(世帯)	①生保・母子世帯		②一般・母子世帯	
	金額	支出割合	金額	支出割合
消費支出(等価世帯人員一人当たり)	126,741円	100.0%	118,199円	100.0%
<b>食料</b>	<b>33,552円</b>	<b>26.5%</b>	<b>29,073円</b>	<b>24.6%</b>
穀類	4,045円	3.2%	2,836円	2.4%
魚介類	1,688円	1.3%	1,534円	1.3%
肉類	3,353円	2.6%	2,896円	2.5%
乳卵類	1,490円	1.2%	1,321円	1.1%
野菜・海藻	3,391円	2.7%	2,640円	2.2%
果物	798円	0.6%	673円	0.6%
油脂・調味料	1,562円	1.2%	1,339円	1.1%
菓子類	3,948円	3.1%	2,924円	2.5%
調理食品	5,973円	4.7%	4,383円	3.7%
飲料	2,943円	2.3%	1,978円	1.7%
酒類	508円	0.4%	619円	0.5%
外食	3,852円	3.0%	5,928円	5.0%
<b>住居</b>	<b>23,536円</b>	<b>18.6%</b>	<b>17,073円</b>	<b>14.4%</b>
家賃・地代	23,341円	18.4%	16,402円	13.9%
設備修繕・維持	195円	0.2%	-	-
<b>光熱・水道</b>	<b>12,087円</b>	<b>9.5%</b>	<b>9,469円</b>	<b>8.0%</b>
電気代	4,274円	3.4%	4,075円	3.4%
ガス代	4,525円	3.6%	2,871円	2.4%
他の光熱	1,033円	0.8%	-	-
上下水道料	2,254円	1.8%	2,281円	1.9%
<b>家具・家事用品</b>	<b>6,183円</b>	<b>4.9%</b>	<b>3,549円</b>	<b>3.0%</b>
家庭用耐久財	1,441円	1.1%	530円	0.4%
室内装備・装飾品	254円	0.2%	-	-
寝具類	368円	0.3%	-	-
家事雑貨	1,488円	1.2%	-	-
家事用消耗品	2,458円	1.9%	-	-
家事サービス	174円	0.1%	-	-

集計対象世帯数(世帯)	①生保・母子世帯		②一般・母子世帯	
	金額	支出割合	金額	支出割合
<b>被服及び履物</b>	<b>7,499円</b>	<b>5.9%</b>	<b>5,062円</b>	<b>4.3%</b>
和服	12円	0.0%	-	-
洋服	3,210円	2.5%	2,212円	1.9%
シャツ/セーター類	595円	0.5%	-	-
下着類	731円	0.6%	-	-
生地・糸類	48円	0.0%	-	-
他の被服	1,554円	1.2%	-	-
履物類	1,224円	1.0%	-	-
被服関連サービス	126円	0.1%	-	-
<b>保健医療</b>	<b>2,218円</b>	<b>1.7%</b>	<b>2,994円</b>	<b>2.5%</b>
医薬品	490円	0.4%	-	-
健康保持用摂取品	307円	0.2%	-	-
保健医療用品・器具	1,145円	0.9%	-	-
保健医療サービス	276円	0.2%	-	-
<b>交通・通信</b>	<b>14,186円</b>	<b>11.2%</b>	<b>18,443円</b>	<b>15.6%</b>
交通	3,371円	2.7%	1,743円	1.5%
自動車等関係費	1,341円	1.1%	8,037円	6.8%
通信	9,473円	7.5%	8,663円	7.3%
<b>教育</b>	<b>7,268円</b>	<b>5.7%</b>	<b>8,389円</b>	<b>7.1%</b>
授業料等	5,065円	4.0%	-	-
教科書・学習参考教材	628円	0.5%	-	-
補習教育	1,575円	1.2%	-	-
<b>教養娯楽</b>	<b>8,758円</b>	<b>6.9%</b>	<b>9,651円</b>	<b>8.2%</b>
教養娯楽用耐久財	347円	0.3%	355円	0.3%
教養娯楽用品	2,953円	2.3%	2,895円	2.4%
書籍・他の印刷物	1,212円	1.0%	936円	0.8%
教養娯楽サービス	4,245円	3.3%	5,466円	4.6%
<b>その他の消費支出</b>	<b>11,454円</b>	<b>9.0%</b>	<b>14,495円</b>	<b>12.3%</b>
諸雑費	8,094円	6.4%	7,478円	6.3%
ごつかい・用途不明	1,811円	1.4%	-	-
交際費	1,322円	1.0%	3,648円	3.1%
仕送り金	227円	0.2%	2,429円	2.1%

出典) 生活保護世帯：平成24年～平成28年社会保障生計調査・一般世帯：平成26年全国消費実態調査に基づいて保護課にて作成  
 注1) 各費目の値については、各費目の集計値を世帯人員の平方根で除することによって、世帯人員の違いを調整している。  
 注2) 網がけの項目は固定的経費を表している。  
 注3) 消費支出額が公表されていない品目がある（「-」で記載）ため、各品目の内訳の合計が総数と一致しない場合がある。

## 2 社会的必需項目の不足に関する指標における生活保護世帯と一般世帯との比較分析

### (1) 社会的必需項目の不足世帯数・割合の分析【 必需項目・不足数別 】 <第2回検討会 資料2・P12関連>

#### 【全世帯】

- 社会的必需項目の不足世帯数・割合を必需項目・不足数別に全世帯で見ると、生活保護世帯では「急な出費への対応」「生命保険等の加入」「親族の冠婚葬祭への出席」「新しい下着の購入の頻度」の不足割合が高くなっていた。【P5】
- 一方、一般世帯では「急な出費への対応」「生命保険等の加入」「新しい下着の購入の頻度」「必要な時に歯医者にかかること」の不足割合が高くなっていた。【P6】

(参考) 生活保護制度における取扱いについて

- ・ 保護の要否判定の結果、保護要とされた世帯における保護開始時の程度の決定（支給額の決定）にあたって収入として認定する手持金は、当該世帯の最低生活費（医療・介護扶助を除く）の5割を超える額とする〔課長通知 第10-10-2〕。
- ・ 保有が認められる保険の種類としては、危険対策を目的とするもの（生命保険等）に限り認められ、貯蓄的性格が強いと思われる養老保険等の保有は認められない。また、生命保険等の場合、保有が認められるのは、解約返戻金が少額（医療扶助を除く最低生活費の概ね3か月程度以下）であり、保険料の額が当該地域の一般世帯との均衡を失しない場合（医療扶助を除く最低生活費の概ね1割程度以下）に限られる〔課長通知 第3-11・生活保護問答集 問3-24〕
- ・ 医者や歯医者にかかる費用（医療費）については、医療扶助による現物給付が行われ、生活保護世帯の負担は生じない。

### 世帯類型別の分析 <第2回検討会 資料2・P14関連>

#### 【高齢者世帯】

- 生活保護世帯：全世帯とほぼ同様の傾向が見られた。【P7】
- 一般世帯：全世帯とほぼ同様の傾向であるが、3項目以上不足の世帯では「必要な時に歯医者にかかること」よりも「肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度」の不足割合がやや高くなっていた。【P8】

#### 【母子世帯】

- 生活保護世帯：全世帯とほぼ同様の傾向であるが「電話（固定電話）の保有」の不足割合も高くなっていた。【P9】
- 一般世帯：全世帯とほぼ同様の傾向であるが、3項目以上不足の世帯では「電話（固定電話）の保有」や「親族の冠婚葬祭への出席」の不足割合がやや高くなっていた。【P10】

### 世帯人員別の分析 <第2回検討会 資料2・P16関連>

#### 【単身世帯】

- 生活保護世帯・一般世帯：ともに全世帯とほぼ同様の傾向が見られた。【P11・P12】

## 2 社会的必需項目の不足に関する指標における生活保護世帯と一般世帯との比較分析

### 【生活保護世帯】

(図表4) 社会的必需項目の不足世帯数・割合(必需項目・不足数別(全世帯))

	先行研究「2011暮らしに関する意識調査」(社会的必需品調査)結果により、社会的必需項目と判定された項目(50%以上の回答者が必要であると回答した項目)	必要度値(回答割合)	H28家庭の生活実態及び生活意識に関する調査の質問番号	相対的剥夺状態に該当する回答(金銭的に余裕がないことを理由にできないと回答したもの)	世帯数		社会的必需項目の不足数別の世帯数・割合									
							なし		1項目		2項目		3項目		4項目以上	
					714	100.0%	74	10.4%	259	36.3%	227	31.8%	96	13.4%	58	8.1%
該当世帯数		社会的必需項目13項目ごとの不足世帯数・割合														
714	100.0%	74	—	259	—	227	—	96	—	58	—					
1	食事の頻度(1日2回以上)	89%	Q1-1	していない(金銭的に余裕がないから)	7	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	6	10.3%
2	肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度(毎日)	75%	Q1-2	摂っていない(金銭的に余裕がないから)	25	3.5%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.3%	2	2.1%	20	34.5%
3	野菜の摂取の頻度(1日1回以上)	75%	Q1-3	食べていない(金銭的に余裕がないから)	26	3.6%	0	0.0%	0	0.0%	8	3.5%	4	4.2%	14	24.1%
4	新しい下着の購入の頻度(1年に1回以上)	60%	Q1-7	ほとんど購入しない	81	11.3%	0	0.0%	5	1.9%	25	11.0%	26	27.1%	25	43.1%
5	必要な時に医者にかかれること	95%	Q1-9(1)	かかっていない(金銭的に余裕がないから)	6	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	5	8.6%
6	必要な時に歯医者にかかれること	93%	Q1-9(2)	かかっていない(金銭的に余裕がないから)	23	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.3%	8	8.3%	12	20.7%
7	炊飯器の保有	75%	Q2(4)	ない(金銭的に余裕がないから)	11	1.5%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.4%	2	2.1%	7	12.1%
8	電気掃除機の保有	69%	Q2(10)	ない(金銭的に余裕がないから)	26	3.6%	0	0.0%	1	0.4%	2	0.9%	12	12.5%	11	19.0%
9	電話(固定電話)の保有	66%	Q2(15)	ない(金銭的に余裕がないから)	48	6.7%	0	0.0%	4	1.5%	10	4.4%	17	17.7%	17	29.3%
10	携帯電話(スマートフォン、PHSを含む)の保有	66%	Q2(16)	ない(金銭的に余裕がないから)	22	3.1%	0	0.0%	1	0.4%	9	4.0%	6	6.3%	6	10.3%
11	親族の冠婚葬祭への出席	53%	Q3-4	ほとんど・まったく出席しない(金銭的に余裕がないから)	120	16.8%	0	0.0%	5	1.9%	28	12.3%	44	45.8%	43	74.1%
12	急な出費への対応	57%	Q5-2	対応できない	572	80.1%	0	0.0%	206	79.5%	216	95.2%	94	97.9%	56	96.6%
13	生命保険等の加入(死亡・障害・病気等)	58%	Q5-5	加入していない(金銭的に余裕がないから)	301	42.2%	0	0.0%	36	13.9%	149	65.6%	71	74.0%	45	77.6%

## 2 社会的必需項目の不足に関する指標における生活保護世帯と一般世帯との比較分析

### 【一般世帯】

(図表5) 社会的必需項目の不足世帯数・割合 (必需項目・不足数別 (全世帯))

	先行研究「2011暮らしに関する意識調査」(社会的必需品調査)結果により、社会的必需項目と判定された項目(50%以上の回答者が必要であると回答した項目)	必要度値 (回答割合)	H28家庭の生活実態及び生活意識に関する調査の質問番号	相対的剥奪状態に該当する回答(金銭的に余裕がないことを理由にできないと回答したもの)	世帯数		社会的必需項目の不足数別の世帯数・割合									
							なし		1項目		2項目		3項目		4項目以上	
					19,402	100.0%	13,040	67.2%	4,227	21.8%	1,338	6.9%	442	2.3%	355	1.8%
					該当世帯数		社会的必需項目13項目ごとの不足世帯数・割合									
					19,402	100.0%	13,040	—	4,227	—	1,338	—	442	—	355	—
1	食事の頻度(1日2回以上)	89%	Q1-1	していない(金銭的に余裕がないから)	88	0.5%	0	0.0%	2	0.0%	7	0.5%	11	2.5%	68	19.2%
2	肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度(毎日)	75%	Q1-2	摂っていない(金銭的に余裕がないから)	262	1.4%	0	0.0%	13	0.3%	41	3.1%	59	13.3%	149	42.0%
3	野菜の摂取の頻度(1日1回以上)	75%	Q1-3	食べていない(金銭的に余裕がないから)	173	0.9%	0	0.0%	1	0.0%	16	1.2%	28	6.3%	128	36.1%
4	新しい下着の購入の頻度(1年に1回以上)	60%	Q1-7	ほとんど購入しない	1,565	8.1%	0	0.0%	646	15.3%	484	36.2%	219	49.5%	216	60.8%
5	必要な時に医者にかかれること	95%	Q1-9(1)	かかっていない(金銭的に余裕がないから)	179	0.9%	0	0.0%	2	0.0%	12	0.9%	46	10.4%	119	33.5%
6	必要な時に歯医者にかかれること	93%	Q1-9(2)	かかっていない(金銭的に余裕がないから)	463	2.4%	0	0.0%	31	0.7%	124	9.3%	111	25.1%	197	55.5%
7	炊飯器の保有	75%	Q2(4)	ない(金銭的に余裕がないから)	35	0.2%	0	0.0%	5	0.1%	4	0.3%	2	0.5%	24	6.8%
8	電気掃除機の保有	69%	Q2(10)	ない(金銭的に余裕がないから)	94	0.5%	0	0.0%	5	0.1%	21	1.6%	17	3.8%	51	14.4%
9	電話(固定電話)の保有	66%	Q2(15)	ない(金銭的に余裕がないから)	216	1.1%	0	0.0%	29	0.7%	58	4.3%	51	11.5%	78	22.0%
10	携帯電話(スマートフォン、PHSを含む)の保有	66%	Q2(16)	ない(金銭的に余裕がないから)	159	0.8%	0	0.0%	23	0.5%	33	2.5%	41	9.3%	62	17.5%
11	親族の冠婚葬祭への出席	53%	Q3-4	ほとんど・まったく出席しない(金銭的に余裕がないから)	198	1.0%	0	0.0%	8	0.2%	26	1.9%	54	12.2%	110	31.0%
12	急な出費への対応	57%	Q5-3	対応できない	5,042	26.0%	0	0.0%	3,087	73.0%	1,207	90.2%	405	91.6%	343	96.6%
13	生命保険等の加入(死亡・障害・病気等)	58%	Q5-6	加入していない(金銭的に余裕がないから)	1,541	7.9%	0	0.0%	375	8.9%	643	48.1%	282	63.8%	241	67.9%

## 2 社会的必需項目の不足に関する指標における生活保護世帯と一般世帯との比較分析

### 【生活保護世帯】

(図表6) 社会的必需項目の不足世帯数・割合(必需項目・不足数別(高齢者世帯))

	先行研究「2011暮らしに関する意識調査」 (社会的必需品調査)結果により、社会的必需項目と判定された項目(50%以上の回答者が必要であると回答した項目)	必要度値 (回答割合)	H28家庭の生活実態及び生活意識に関する調査の質問番号	相対的剥奪状態に該当する回答(金銭的に余裕がないことを理由にできないと回答したもの)	世帯数		社会的必需項目の不足数別の世帯数・割合									
							なし		1項目		2項目		3項目		4項目以上	
					310	100.0%	37	11.9%	115	37.1%	101	32.6%	41	13.2%	16	5.2%
該当世帯数		社会的必需項目13項目ごとの不足世帯数・割合														
310	100.0%	37	—	115	—	101	—	41	—	16	—					
1	食事の頻度(1日2回以上)	89%	Q1-1	していない(金銭的に余裕がないから)	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%
2	肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度(毎日)	75%	Q1-2	摂っていない(金銭的に余裕がないから)	10	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.0%	1	2.4%	6	37.5%
3	野菜の摂取の頻度(1日1回以上)	75%	Q1-3	食べていない(金銭的に余裕がないから)	6	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.0%	2	4.9%	1	6.3%
4	新しい下着の購入の頻度(1年に1回以上)	60%	Q1-7	ほとんど購入しない	39	12.6%	0	0.0%	3	2.6%	15	14.9%	11	26.8%	10	62.5%
5	必要な時に医者にかかること	95%	Q1-9(1)	かかっている(金銭的に余裕がないから)	3	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	18.8%
6	必要な時に歯医者にかかること	93%	Q1-9(2)	かかっている(金銭的に余裕がないから)	9	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	4	9.8%	4	25.0%
7	炊飯器の保有	75%	Q2(4)	ない(金銭的に余裕がないから)	6	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.4%	5	31.3%
8	電気掃除機の保有	69%	Q2(10)	ない(金銭的に余裕がないから)	12	3.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%	6	14.6%	4	25.0%
9	電話(固定電話)の保有	66%	Q2(15)	ない(金銭的に余裕がないから)	8	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	14.6%	2	12.5%
10	携帯電話(スマートフォン、PHSを含む)の保有	66%	Q2(16)	ない(金銭的に余裕がないから)	15	4.8%	0	0.0%	0	0.0%	8	7.9%	3	7.3%	4	25.0%
11	親族の冠婚葬祭への出席	53%	Q3-4	ほとんど・まったく出席しない(金銭的に余裕がないから)	39	12.6%	0	0.0%	2	1.7%	9	8.9%	19	46.3%	9	56.3%
12	急な出費への対応	57%	Q5-2	対応できない	248	80.0%	0	0.0%	97	84.3%	96	95.0%	40	97.6%	15	93.8%
13	生命保険等の加入(死亡・障害・病気等)	58%	Q5-5	加入していない(金銭的に余裕がないから)	121	39.0%	0	0.0%	13	11.3%	65	64.4%	30	73.2%	13	81.3%

## 2 社会的必需項目の不足に関する指標における生活保護世帯と一般世帯との比較分析

### 【一般世帯】

(図表7) 社会的必需項目の不足世帯数・割合 (必需項目・不足数別 (高齢者世帯))

	先行研究「2011暮らしに関する意識調査」 (社会的必需品調査)結果により、社会的必需項目と判定された項目(50%以上の回答者が必要であると回答した項目)	必要度値 (回答割合)	H28家庭の生活実態及び生活意識に関する調査の質問番号	相対的剥奪状態に該当する回答(金銭的に余裕がないことを理由にできないと回答したもの)	世帯数		社会的必需項目の不足数別の世帯数・割合									
							なし		1項目		2項目		3項目		4項目以上	
					5475	100.0%	3626	66.2%	1162	21.2%	442	8.1%	148	2.7%	97	1.8%
該当世帯数		社会的必需項目13項目ごとの不足世帯数・割合														
5475	100.0%	3626	—	1162	—	442	—	148	—	97	—					
1	食事の頻度(1日2回以上)	89%	Q1-1	していない(金銭的に余裕がないから)	18	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.4%	16	16.5%
2	肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度(毎日)	75%	Q1-2	摂っていない(金銭的に余裕がないから)	105	1.9%	0	0.0%	10	0.9%	23	5.2%	23	15.5%	49	50.5%
3	野菜の摂取の頻度(1日1回以上)	75%	Q1-3	食べていない(金銭的に余裕がないから)	41	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.9%	5	3.4%	32	33.0%
4	新しい下着の購入の頻度(1年に1回以上)	60%	Q1-7	ほとんど購入しない	603	11.0%	0	0.0%	291	25.0%	170	38.5%	80	54.1%	62	63.9%
5	必要な時に医者にかかること	95%	Q1-9(1)	かかっていない(金銭的に余裕がないから)	27	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	8	5.4%	17	17.5%
6	必要な時に歯医者にかかること	93%	Q1-9(2)	かかっていない(金銭的に余裕がないから)	99	1.8%	0	0.0%	8	0.7%	31	7.0%	22	14.9%	38	39.2%
7	炊飯器の保有	75%	Q2(4)	ない(金銭的に余裕がないから)	8	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	1	0.7%	6	6.2%
8	電気掃除機の保有	69%	Q2(10)	ない(金銭的に余裕がないから)	23	0.4%	0	0.0%	1	0.1%	5	1.1%	3	2.0%	14	14.4%
9	電話(固定電話)の保有	66%	Q2(15)	ない(金銭的に余裕がないから)	15	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	4	2.7%	9	9.3%
10	携帯電話(スマートフォン、PHSを含む)の保有	66%	Q2(16)	ない(金銭的に余裕がないから)	82	1.5%	0	0.0%	10	0.9%	20	4.5%	21	14.2%	31	32.0%
11	親族の冠婚葬祭への出席	53%	Q3-4	ほとんど・まったく出席しない(金銭的に余裕がないから)	65	1.2%	0	0.0%	3	0.3%	8	1.8%	22	14.9%	32	33.0%
12	急な出費への対応	57%	Q5-2	対応できない	1284	23.5%	0	0.0%	666	57.3%	388	87.8%	136	91.9%	94	96.9%
13	生命保険等の加入(死亡・障害・病気等)	58%	Q5-5	加入していない(金銭的に余裕がないから)	591	10.8%	0	0.0%	173	14.9%	230	52.0%	117	79.1%	71	73.2%

## 2 社会的必需項目の不足に関する指標における生活保護世帯と一般世帯との比較分析

### 【生活保護世帯】

(図表8) 社会的必需項目の不足世帯数・割合(必需項目・不足数別(母子世帯))

	先行研究「2011暮らしに関する意識調査」(社会的必需品調査)結果により、社会的必需項目と判定された項目(50%以上の回答者が必要であると回答した項目)	必要度値(回答割合)	H28家庭の生活実態及び生活意識に関する調査の質問番号	相対的剥夺状態に該当する回答(金銭的に余裕がないことを理由にできないと回答したもの)	世帯数		社会的必需項目の不足数別の世帯数・割合									
							なし		1項目		2項目		3項目		4項目以上	
					103	100.0%	13	12.6%	40	38.8%	28	27.2%	11	10.7%	11	10.7%
該当世帯数		社会的必需項目13項目ごとの不足世帯数・割合														
103	100.0%	13	—	40	—	28	—	11	—	11	—					
1	食事の頻度(1日2回以上)	89%	Q1-1	していない(金銭的に余裕がないから)	2	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	18.2%
2	肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度(毎日)	75%	Q1-2	摂っていない(金銭的に余裕がないから)	4	3.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	36.4%
3	野菜の摂取の頻度(1日1回以上)	75%	Q1-3	食べていない(金銭的に余裕がないから)	8	7.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.1%	1	9.1%	5	45.5%
4	新しい下着の購入の頻度(1年に1回以上)	60%	Q1-7	ほとんど購入しない	10	9.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.1%	2	18.2%	6	54.5%
5	必要な時に医者にかかれること	95%	Q1-9(1)	かかっていない(金銭的に余裕がないから)	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%
6	必要な時に歯医者にかかれること	93%	Q1-9(2)	かかっていない(金銭的に余裕がないから)	2	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%	1	9.1%
7	炊飯器の保有	75%	Q2(4)	ない(金銭的に余裕がないから)	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%
8	電気掃除機の保有	69%	Q2(10)	ない(金銭的に余裕がないから)	2	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%	1	9.1%
9	電話(固定電話)の保有	66%	Q2(15)	ない(金銭的に余裕がないから)	14	13.6%	0	0.0%	2	5.0%	3	10.7%	4	36.4%	5	45.5%
10	携帯電話(スマートフォン、PHSを含む)の保有	66%	Q2(16)	ない(金銭的に余裕がないから)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11	親族の冠婚葬祭への出席	53%	Q3-4	ほとんど・まったく出席しない(金銭的に余裕がないから)	17	16.5%	0	0.0%	1	2.5%	3	10.7%	5	45.5%	8	72.7%
12	急な出費への対応	57%	Q5-2	対応できない	79	76.7%	0	0.0%	31	77.5%	27	96.4%	11	100.0%	10	90.9%
13	生命保険等の加入(死亡・障害・病気等)	58%	Q5-5	加入していない(金銭的に余裕がないから)	40	38.8%	0	0.0%	6	15.0%	19	67.9%	7	63.6%	8	72.7%

## 2 社会的必需項目の不足に関する指標における生活保護世帯と一般世帯との比較分析

### 【一般世帯】

(図表9) 社会的必需項目の不足世帯数・割合(必需項目・不足数別(母子世帯))

	先行研究「2011暮らしに関する意識調査」 (社会的必需品調査)結果により、社会的必需項目と判定された項目(50%以上の回答者が必要であると回答した項目)	必要度値 (回答割合)	H28家庭の生活実態及び生活意識に関する調査の質問番号	相対的剥奪状態に該当する回答(金銭的に余裕がないことを理由にできないと回答したもの)	世帯数		社会的必需項目の不足数別の世帯数・割合									
							なし		1項目		2項目		3項目		4項目以上	
					193	100.0%	61	31.6%	65	33.7%	38	19.7%	15	7.8%	14	7.3%
該当世帯数		社会的必需項目13項目ごとの不足世帯数・割合														
193	100.0%	61	—	65	—	38	—	15	—	14	—					
1	食事の頻度(1日2回以上)	89%	Q1-1	していない(金銭的に余裕がないから)	2	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	14.3%
2	肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度(毎日)	75%	Q1-2	摂っていない(金銭的に余裕がないから)	3	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	21.4%
3	野菜の摂取の頻度(1日1回以上)	75%	Q1-3	食べていない(金銭的に余裕がないから)	8	4.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	7	50.0%
4	新しい下着の購入の頻度(1年に1回以上)	60%	Q1-7	ほとんど購入しない	27	14.0%	0	0.0%	3	4.6%	7	18.4%	7	46.7%	10	71.4%
5	必要な時に医者にかかれること	95%	Q1-9(1)	かかっていない(金銭的に余裕がないから)	3	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	21.4%
6	必要な時に歯医者にかかれること	93%	Q1-9(2)	かかっていない(金銭的に余裕がないから)	7	3.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	13.3%	5	35.7%
7	炊飯器の保有	75%	Q2(4)	ない(金銭的に余裕がないから)	2	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	1	7.1%
8	電気掃除機の保有	69%	Q2(10)	ない(金銭的に余裕がないから)	7	3.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	6	42.9%
9	電話(固定電話)の保有	66%	Q2(15)	ない(金銭的に余裕がないから)	31	16.1%	0	0.0%	2	3.1%	10	26.3%	11	73.3%	8	57.1%
10	携帯電話(スマートフォン、PHSを含む)の保有	66%	Q2(16)	ない(金銭的に余裕がないから)	2	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	1	7.1%
11	親族の冠婚葬祭への出席	53%	Q3-4	ほとんど・まったく出席しない(金銭的に余裕がないから)	9	4.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	8	57.1%
12	急な出費への対応	57%	Q5-2	対応できない	117	60.6%	0	0.0%	55	84.6%	36	94.7%	13	86.7%	13	92.9%
13	生命保険等の加入(死亡・障害・病気等)	58%	Q5-5	加入していない(金銭的に余裕がないから)	41	21.2%	0	0.0%	5	7.7%	20	52.6%	10	66.7%	6	42.9%

## 2 社会的必需項目の不足に関する指標における生活保護世帯と一般世帯との比較分析

### 【生活保護世帯】

(図表10) 社会的必需項目の不足世帯数・割合 (必需項目・不足数別 (単身世帯))

	先行研究「2011暮らしに関する意識調査」 (社会的必需品調査)結果により、社会的必需項目と判定された項目(50%以上の回答者が必要であると回答した項目)	必要度値 (回答割合)	H28家庭の生活実態及び生活意識に関する調査の質問番号	相対的剥奪状態に該当する回答(金銭的に余裕がないことを理由にできないと回答したもの)	世帯数		社会的必需項目の不足数別の世帯数・割合									
							なし		1項目		2項目		3項目		4項目以上	
					369	100.0%	38	10.3%	138	37.4%	116	31.4%	50	13.6%	27	7.3%
該当世帯数		社会的必需項目13項目ごとの不足世帯数・割合														
369		100.0%		38	—	138	—	116	—	50	—	27	—			
1	食事の頻度(1日2回以上)	89%	Q1-1	していない(金銭的に余裕がないから)	4	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	3	11.1%
2	肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度(毎日)	75%	Q1-2	摂っていない(金銭的に余裕がないから)	14	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.6%	1	2.0%	10	37.0%
3	野菜の摂取の頻度(1日1回以上)	75%	Q1-3	食べていない(金銭的に余裕がないから)	12	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	3.4%	2	4.0%	6	22.2%
4	新しい下着の購入の頻度(1年に1回以上)	60%	Q1-7	ほとんど購入しない	38	10.3%	0	0.0%	1	0.7%	14	12.1%	12	24.0%	11	40.7%
5	必要な時に医者にかかれること	95%	Q1-9(1)	かかっていない(金銭的に余裕がないから)	3	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	11.1%
6	必要な時に歯医者にかかれること	93%	Q1-9(2)	かかっていない(金銭的に余裕がないから)	13	3.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.7%	5	10.0%	6	22.2%
7	炊飯器の保有	75%	Q2(4)	ない(金銭的に余裕がないから)	8	2.2%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	2	4.0%	5	18.5%
8	電気掃除機の保有	69%	Q2(10)	ない(金銭的に余裕がないから)	13	3.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	8	16.0%	4	14.8%
9	電話(固定電話)の保有	66%	Q2(15)	ない(金銭的に余裕がないから)	20	5.4%	0	0.0%	2	1.4%	3	2.6%	9	18.0%	6	22.2%
10	携帯電話(スマートフォン、PHSを含む)の保有	66%	Q2(16)	ない(金銭的に余裕がないから)	15	4.1%	0	0.0%	1	0.7%	7	6.0%	3	6.0%	4	14.8%
11	親族の冠婚葬祭への出席	53%	Q3-4	ほとんど・まったく出席しない(金銭的に余裕がないから)	58	15.7%	0	0.0%	2	1.4%	13	11.2%	24	48.0%	19	70.4%
12	急な出費への対応	57%	Q5-2	対応できない	296	80.2%	0	0.0%	112	81.2%	108	93.1%	50	100.0%	26	96.3%
13	生命保険等の加入(死亡・障害・病気等)	58%	Q5-5	加入していない(金銭的に余裕がないから)	153	41.5%	0	0.0%	19	13.8%	77	66.4%	33	66.0%	24	88.9%

## 2 社会的必需項目の不足に関する指標における生活保護世帯と一般世帯との比較分析

### 【一般世帯】

(図表11) 社会的必需項目の不足世帯数・割合 (必需項目・不足数別 (単身世帯))

	先行研究「2011暮らしに関する意識調査」 (社会的必需品調査)結果により、社会的必需項目と判定された項目(50%以上の回答者が必要であると回答した項目)	必要度値 (回答割合)	H28家庭の生活実態及び生活意識に関する調査の質問番号	相対的剥奪状態に該当する回答(金銭的に余裕がないことを理由にできないと回答したもの)	世帯数		社会的必需項目の不足数別の世帯数・割合									
							なし		1項目		2項目		3項目		4項目以上	
					4278	100.0%	2403	56.2%	1042	24.4%	481	11.2%	190	4.4%	162	3.8%
					該当世帯数		社会的必需項目13項目ごとの不足世帯数・割合									
					4278	100.0%	2403	—	1042	—	481	—	190	—	162	—
1	食事の頻度(1日2回以上)	89%	Q1-1	していない(金銭的に余裕がないから)	46	1.1%	0	0.0%	1	0.1%	2	0.4%	8	4.2%	35	21.6%
2	肉・魚・豆腐などたんぱく質の摂取の頻度(毎日)	75%	Q1-2	摂っていない(金銭的に余裕がないから)	136	3.2%	0	0.0%	9	0.9%	14	2.9%	31	16.3%	82	50.6%
3	野菜の摂取の頻度(1日1回以上)	75%	Q1-3	食べていない(金銭的に余裕がないから)	86	2.0%	0	0.0%	1	0.1%	5	1.0%	14	7.4%	66	40.7%
4	新しい下着の購入の頻度(1年に1回以上)	60%	Q1-7	ほとんど購入しない	622	14.5%	0	0.0%	242	23.2%	188	39.1%	95	50.0%	97	59.9%
5	必要な時に医者にかかること	95%	Q1-9(1)	かかっていない(金銭的に余裕がないから)	61	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.8%	17	8.9%	40	24.7%
6	必要な時に歯医者にかかること	93%	Q1-9(2)	かかっていない(金銭的に余裕がないから)	153	3.6%	0	0.0%	8	0.8%	38	7.9%	33	17.4%	74	45.7%
7	炊飯器の保有	75%	Q2(4)	ない(金銭的に余裕がないから)	17	0.4%	0	0.0%	2	0.2%	1	0.2%	2	1.1%	12	7.4%
8	電気掃除機の保有	69%	Q2(10)	ない(金銭的に余裕がないから)	58	1.4%	0	0.0%	3	0.3%	16	3.3%	12	6.3%	27	16.7%
9	電話(固定電話)の保有	66%	Q2(15)	ない(金銭的に余裕がないから)	62	1.4%	0	0.0%	4	0.4%	10	2.1%	13	6.8%	35	21.6%
10	携帯電話(スマートフォン、PHSを含む)の保有	66%	Q2(16)	ない(金銭的に余裕がないから)	62	1.4%	0	0.0%	7	0.7%	12	2.5%	19	10.0%	24	14.8%
11	親族の冠婚葬祭への出席	53%	Q3-4	ほとんど・まったく出席しない(金銭的に余裕がないから)	100	2.3%	0	0.0%	4	0.4%	12	2.5%	29	15.3%	55	34.0%
12	急な出費への対応	57%	Q5-2	対応できない	1399	32.7%	0	0.0%	647	62.1%	422	87.7%	175	92.1%	155	95.7%
13	生命保険等の加入(死亡・障害・病気等)	58%	Q5-5	加入していない(金銭的に余裕がないから)	589	13.8%	0	0.0%	114	10.9%	238	49.5%	122	64.2%	115	71.0%

## 2 社会的必需項目の不足に関する指標における生活保護世帯と一般世帯との比較分析

### (2) 等価収入階級別にみた社会的必需項目の不足に関する指標に係る分析【持ち家の有無・世帯類型別】

＜第2回検討会 資料2・P13関連＞

#### 【一般世帯（持ち家の有無・世帯類型別）】

- 一般世帯における社会的必需項目の剥奪指数（平均値）を持ち家の有無・世帯類型別にみると、全体平均及びいずれの世帯類型についても「持ち家無」の剥奪指数の方が高くなっており、世帯類型別にみると、「持ち家有」「持ち家無」のいずれにおいても、母子世帯及び障害者・傷病者世帯の剥奪指数が他の世帯類型と比較して高くなっている。
- これを等価可処分所得階級別にみると、いずれの所得階級においても「持ち家無」の剥奪指数の方が概ね高くなっている。
- また、「持ち家有」「持ち家無」ともに、障害者・傷病者世帯を除いて、可処分所得の増加に伴って剥奪指数が概ね減少していく傾向が見られた。

#### 【一般世帯・持ち家有】

(図表12) 等価可処分所得階級別 世帯類型別の社会的必需項目の剥奪指数平均  
(持ち家有・世帯類型別)

等価可処分所得	件数(件)	世帯類型				
		全体	高齢者世帯	母子世帯	障害者・傷病者世帯	その他の世帯
件数(件)	—	10616	3616	45	270	6685
10万円未満	1754	5.1	4.8	8.7	7.4	5.1
10万円以上～15万円未満	1748	3.4	2.8	3.7	6.1	3.8
15万円以上～20万円未満	1997	2.1	1.8	1.2	3.2	2.4
20万円以上～25万円未満	1505	1.8	1.0	0.0	1.9	2.1
25万円以上～30万円未満	1151	1.5	1.0	0.0	1.1	1.7
30万円以上～35万円未満	781	1.2	0.5	0.0	2.3	1.3
35万円以上～40万円未満	545	0.9	0.7	—	0.9	1.0
40万円以上～50万円未満	644	0.6	0.3	—	2.1	0.7
50万円以上～100万円未満	442	0.4	0.4	0.0	2.1	0.3
100万円以上～300万円未満	44	0.3	0.5	—	0.0	0.2
300万円以上	5	0.0	—	—	—	0.0
総計	10616	2.4	2.5	4.7	4.7	2.2

注1) 障害者世帯：世帯主が身体障害・知的障害等の心身の障害のため働けない世帯  
注2) 傷病者世帯：世帯主が病気やけがのため働けない世帯

#### 【一般世帯・持ち家無】

(図表13) 等価可処分所得階級別 世帯類型別の社会的必需項目の剥奪指数平均  
(持ち家無・世帯類型別)

等価可処分所得	件数(件)	世帯類型				
		全体	高齢者世帯	母子世帯	障害者・傷病者世帯	その他の世帯
件数(件)	—	3704	865	110	159	2570
10万円未満	970	10.6	11.0	12.3	15.2	9.5
10万円以上～15万円未満	827	8.9	8.1	8.3	16.2	8.4
15万円以上～20万円未満	669	5.0	4.1	10.0	8.0	5.1
20万円以上～25万円未満	444	4.0	3.8	2.3	25.0	3.8
25万円以上～30万円未満	279	2.8	0.7	6.1	12.4	2.9
30万円以上～35万円未満	156	1.2	3.1	—	0.0	1.1
35万円以上～40万円未満	112	1.2	0.0	—	—	1.3
40万円以上～50万円未満	118	0.7	1.2	—	—	0.6
50万円以上～100万円未満	127	1.2	0.0	—	0.0	1.3
100万円以上～300万円未満	2	0.0	0.0	—	—	0.0
300万円以上	—	—	—	—	—	—
総計	3704	6.5	8.0	10.0	14.8	5.3

注1) 障害者世帯：世帯主が身体障害・知的障害等の心身の障害のため働けない世帯  
注2) 傷病者世帯：世帯主が病気やけがのため働けない世帯

## 2 社会的必需項目の不足に関する指標における生活保護世帯と一般世帯との比較分析

### (2) 等価収入階級別にみた社会的必需項目の不足に関する指標に係る分析【持ち家の有無・世帯人員別】

<第2回検討会 資料2・P15関連>

#### 【一般世帯（持ち家の有無・世帯人員別）】

- 一般世帯における社会的必需項目の剥奪指数（平均値）を持ち家の有無・世帯人員別にみると、全体平均及びいずれの世帯人員についても「持ち家無」の剥奪指数の方が高くなっており、世帯人員別にみると、「持ち家有」「持ち家無」のいずれにおいても、1人世帯の剥奪指数が他の世帯類型と比較して高くなっている。
- これを等価可処分所得階級別にみると、いずれの所得階級においても「持ち家無」の剥奪指数の方が高くなっている。
- また、「持ち家有」「持ち家無」ともに、可処分所得の増加に伴って剥奪指数が概ね減少していく傾向が見られた。

#### 【一般世帯・持ち家有】

(図表14) 等価可処分所得階級別 世帯人員別の社会的必需項目の剥奪指数平均  
(持ち家有・世帯人員別)

等価可処分所得	件数(件)	世帯人員				
		全体	1人	2人	3人	4人以上
件数(件)	—	10616	1960	4020	2261	2375
10万円未満	1754	5.1	5.5	4.7	5.5	4.4
10万円以上～15万円未満	1748	3.4	3.2	3.4	3.1	4.2
15万円以上～20万円未満	1997	2.1	2.4	1.8	2.2	2.5
20万円以上～25万円未満	1505	1.8	2.0	1.3	2.2	2.0
25万円以上～30万円未満	1151	1.5	2.3	1.7	1.2	1.5
30万円以上～35万円未満	781	1.2	1.9	0.9	1.4	1.1
35万円以上～40万円未満	545	0.9	0.2	1.1	0.9	1.0
40万円以上～50万円未満	644	0.6	0.8	0.5	0.7	0.7
50万円以上～100万円未満	442	0.4	1.0	0.1	0.2	0.6
100万円以上～300万円未満	44	0.3	0.0	0.6	0.0	0.0
300万円以上	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総計	10616	2.4	3.6	2.2	2.1	2.1

#### 【一般世帯・持ち家無】

(図表15) 等価可処分所得階級別 世帯人員別の社会的必需項目の剥奪指数平均  
(持ち家無・世帯人員別)

等価可処分所得	件数(件)	世帯人員				
		全体	1人	2人	3人	4人以上
件数(件)	—	3704	1551	1018	639	496
10万円未満	970	10.6	11.0	11.0	9.7	9.2
10万円以上～15万円未満	827	8.9	9.8	8.3	7.9	7.6
15万円以上～20万円未満	669	5.0	5.7	4.8	5.0	3.8
20万円以上～25万円未満	444	4.0	4.2	4.5	3.5	3.5
25万円以上～30万円未満	279	2.8	3.7	1.6	3.1	2.2
30万円以上～35万円未満	156	1.2	1.2	1.8	1.0	0.0
35万円以上～40万円未満	112	1.2	1.4	1.2	0.8	1.3
40万円以上～50万円未満	118	0.7	0.8	0.7	0.6	0.0
50万円以上～100万円未満	127	1.2	1.7	1.0	0.4	0.0
100万円以上～300万円未満	2	0.0	0.0	—	—	0.0
300万円以上	—	—	—	—	—	—
総計	3704	6.5	7.7	6.2	5.4	5.1

## 2 社会的必需項目の不足に関する指標における生活保護世帯と一般世帯との比較分析

### (3) 等価収入階級別にみた社会的必需項目の不足に関する指標に係る生活保護世帯と一般世帯（持ち家無）の比較分析

＜第2回検討会 資料2・P13関連＞

#### 【世帯類型別（剥奪指数）】

- 生活保護世帯と一般世帯（持ち家無）における社会的必需項目の剥奪指数（平均値）を世帯類型別にみると、障害者・傷病者世帯を除いて、生活保護世帯の剥奪指数の方が高くなっている。
- これを等価収入階級別みると、
  - ・ 「10万円未満」では、その他の世帯を除いて、一般世帯の剥奪指数の方がやや高くなっている一方、
  - ・ 「10万円以上」の各収入階級では、障害者・傷病者世帯を除いて、生活保護世帯の剥奪指数の方が高くなっている。
- 生活保護世帯の剥奪指数は実収入の増加に伴う変化に一定の傾向が見られない一方、一般世帯（持ち家無）の剥奪指数については、可処分所得の増加に伴って概ね減少する傾向が見られるため、収入の増加するほどその較差が大きくなる傾向が見られた。

#### 【生活保護世帯】

（図表16）等価実収入階級別 世帯類型別の社会的必需項目の剥奪指数平均（世帯類型別）

等価実収入	世帯数	世帯類型				
		全体	高齢者世帯	母子世帯	障害者・傷病者世帯	その他の世帯
件数(件)	—	714	310	103	137	164
10万円未満	130	10.7	10.4	11.9	10.5	11.4
10万円以上～15万円未満	459	11.6	10.7	11.8	12.5	12.4
15万円以上	125	11.4	11.0	10.3	11.6	12.9
総計	714	11.4	10.7	11.3	12.0	12.3

#### 【一般世帯・持ち家無】

（図表13）等価可処分所得階級別 世帯類型別の社会的必需項目の剥奪指数平均（持ち家無・世帯類型別）

＜再掲＞

等価可処分所得	件数(件)	世帯類型				
		全体	高齢者世帯	母子世帯	障害者・傷病者世帯	その他の世帯
件数(件)	—	3704	865	110	159	2570
10万円未満	970	10.6	11.0	12.3	15.2	9.5
10万円以上～15万円未満	827	8.9	8.1	8.3	16.2	8.4
15万円以上～20万円未満	669	5.0	4.1	10.0	8.0	5.1
20万円以上～25万円未満	444	4.0	3.8	2.3	25.0	3.8
25万円以上～30万円未満	279	2.8	0.7	6.1	12.4	2.9
30万円以上～35万円未満	156	1.2	3.1	—	0.0	1.1
35万円以上～40万円未満	112	1.2	0.0	—	—	1.3
40万円以上～50万円未満	118	0.7	1.2	—	—	0.6
50万円以上～100万円未満	127	1.2	0.0	—	0.0	1.3
100万円以上～300万円未満	2	0.0	0.0	—	—	0.0
300万円以上	—	—	—	—	—	—
総計	3704	6.5	8.0	10.0	14.8	5.3

注1) 障害者世帯：世帯主が身体障害・知的障害等の心身上の障害のため働けない世帯  
 注2) 傷病者世帯：世帯主が病気やけがのため働けない世帯

## 2 社会的必需項目の不足に関する指標における生活保護世帯と一般世帯との比較分析

### (3) 等価収入階級別にみた社会的必需項目の不足に関する指標に係る生活保護世帯と一般世帯（持ち家無）の比較分析

＜第2回検討会 資料2・P15関連＞

#### 【世帯人員別（剥奪指数）】

- 生活保護世帯と一般世帯（持ち家無）における社会的必需項目の剥奪指数（平均値）を世帯人員別にみると、いずれの世帯人員においても生活保護世帯の剥奪指数が高くなっている。
- これを等価収入階級別みると、
  - ・ 「10万円未満」では、1人世帯と3人世帯については、一般世帯の剥奪指数の方がやや高くなっている一方、
  - ・ 「10万円以上」の各収入階級では、生活保護世帯の剥奪指数の方が高くなっている。
- 生活保護世帯の剥奪指数は実収入の増加に伴う変化に一定の傾向が見られない一方、一般世帯（持ち家無）の剥奪指数については、可処分所得の増加に伴って概ね減少する傾向が見られるため、収入の増加するほどその較差が大きくなる傾向が見られた。

#### 【生活保護世帯】

（図表17）等価実収入階級別 世帯人員別の社会的必需項目の剥奪指数平均（世帯人員別）

等価実収入	世帯数	世帯人員				
		全体	1人	2人	3人	4人以上
件数(件)	—	714	369	274	48	23
10万円未満	130	10.7	10.3	11.4	8.9	—
10万円以上～15万円未満	459	11.6	11.3	11.8	12.8	9.7
15万円以上	125	11.4	12.1	11.3	7.2	13.4
総計	714	11.4	11.3	11.6	10.8	11.6

#### 【一般世帯・持ち家無】

（図表15）等価可処分所得階級別 世帯人員別の社会的必需項目の剥奪指数平均（持ち家無・世帯人員別）

＜再掲＞

等価可処分所得	件数(件)	世帯人員				
		全体	1人	2人	3人	4人以上
件数(件)	—	3704	1551	1018	639	496
10万円未満	970	10.6	11.0	11.0	9.7	9.2
10万円以上～15万円未満	827	8.9	9.8	8.3	7.9	7.6
15万円以上～20万円未満	669	5.0	5.7	4.8	5.0	3.8
20万円以上～25万円未満	444	4.0	4.2	4.5	3.5	3.5
25万円以上～30万円未満	279	2.8	3.7	1.6	3.1	2.2
30万円以上～35万円未満	156	1.2	1.2	1.8	1.0	0.0
35万円以上～40万円未満	112	1.2	1.4	1.2	0.8	1.3
40万円以上～50万円未満	118	0.7	0.8	0.7	0.6	0.0
50万円以上～100万円未満	127	1.2	1.7	1.0	0.4	0.0
100万円以上～300万円未満	2	0.0	0.0	—	—	0.0
300万円以上	—	—	—	—	—	—
総計	3704	6.5	7.7	6.2	5.4	5.1